

第1章 ビジョン策定の趣旨と位置付け

1. 策定の趣旨

本町の水道事業は、昭和38年の創設以来、愛知県営水道（以下、県水）から浄水の供給を受けながら、住民生活や産業活動に欠くことのできない水道水を安定して供給できるよう給水区域の拡張と安定供給に努め、約55年が経過しました。

給水普及率は、平成29年度末で99.7%となっており、既に事業拡張の時代から維持管理の時代へと移行しており、老朽管の改良と耐震化、水道施設の設備や給水体制の充実に努めるなど、安全・安心な水道水を将来にわたって安定供給し続ける取り組みを行ってきました。

その一方で、少子高齢化による人口減少や節水型機器の普及、節水意識の向上など、これまでのような水需要の伸びを期待することが難しくなり、また今後は、創設期の水道施設の多くが更新時期を迎え、財政収支への影響を踏まえた計画的な事業経営と戦略的な経営方針が求められます。加えて、昨今の大規模な自然災害の経験から、これまで以上に災害対策、危機管理が求められ、大きな転換期を迎えています。

これらの課題に対応していくために、厚生労働省は平成25年3月に安全で強靱な水道を持続することを目標とした「新水道ビジョン」を策定・公表しました。本町においても、これらの水道事業を取り巻く環境の変化に対応し、課題に対する戦略的な事業展開を図り、持続可能な水道事業を目指し、水道施設の更新、耐震化等の取り組みを明確に示した「阿久比町水道ビジョン」を策定します。

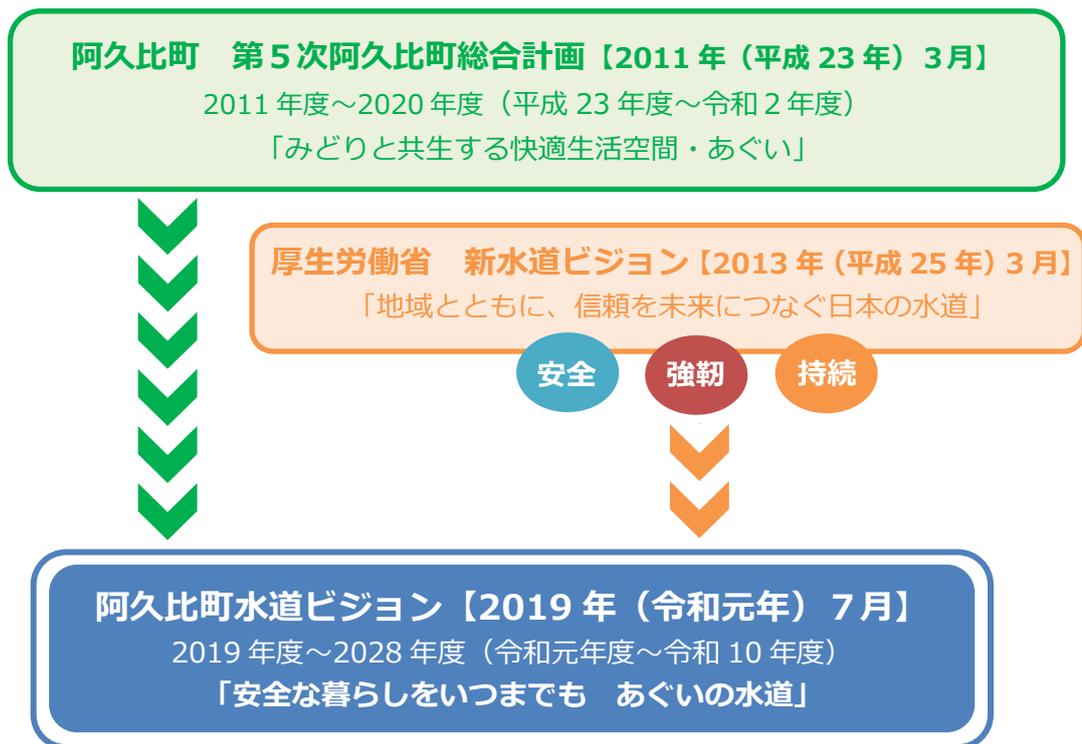


2. 位置付け

本ビジョンの上位計画である、「第5次阿久比町総合計画」では、「みどりと共生する快適生活空間・あぐい」をまちの将来像として、暮らしの「安全・安心・安定」、「阿久比らしさ」、「参画と協働」を基本理念としています。この中で水道事業は、住民の生活に欠かすことのできない安全で良質な水の安定供給に向けて、計画的かつ効果的な施設整備を行うとともに、水道事業の健全運営に努めています。

一方、厚生労働省は「新水道ビジョン」を推進するために、安全（水道水の安全の確保）、強靱（確実な給水の確保）、持続（供給体制の持続性の確保）の3つの観点から、各事業体に水道ビジョンの策定を求めています。

本ビジョンでは、これらの上位計画を考慮しつつ、本町の水道事業が理想とする将来像を明示するとともに、その実現に向けて当面の概ね10年間（計画期間：令和元年度～10年度）に取り組む方策と目標を示した、本町の水道事業の経営指針として策定するものです。



阿久比町水道ビジョンの位置付け